

日本子ども家庭総合研究所 平成 19 年度 研究業績

1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等 (39 件)
2. 研究論文 (43 件)
3. 編著書 (62 件)
4. 報告書 (24 件)
5. その他 (98 件)

1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等

- 柳澤正義『子どもの心の診療医の養成について：行政の取組（総合シンポジウム 1. 子どもの心の診療における小児科医の役割）』第 110 回日本小児科学会学術集会(京都), 2007. 4.
- 柳澤正義『（特別公演）すべての小児科医は子どもの心の診療医』第 197 回日本小児科学会新潟地方会(新潟), 2007. 9.
- 池田康幸・小山修・斉藤進・和田耕太郎・山口忍『親と子の生活行動と健康に関する研究(第 2 報) ー日記形式を用いた朝食摂取状況調査ー』第 66 回日本公衆衛生学会(松山), 2007. 10.
- 澁谷昌史・小山修・庄司順一・大和田夏美『社会的養護システムにおける里親の役割及びその拡充に向けた課題について』第 8 回日本子ども家庭福祉学会(大阪), 2007. 6.
- 尾木まり・小山修・庄司順一・澁谷昌史・網野武博・福川須美『在宅サービスのあり方に関する研究Ⅱー地方自治体における家庭的保育への取り組みに関する研究ー』第 8 回日本子ども家庭福祉学会(大阪), 2007. 6.
- 中村敬『ソーシャルサーベイへの挑戦とその限界』第 15 回多文化精神医学会シンポジウム(東京), 2008. 3.
- 中村敬『子どもが健やかに育つ地域づくりを考える』文部科学省現代 GP 地域フォーラム(仙台), 2008. 3.
- 福本恵・高野陽・三橋美和・榊本妙子・齋藤幸子・中村敬『市町村合併の乳幼児健診に及ぼす影響と課題』第 54 回日本小児保健学会(前橋), 2007. 9.
- 堤ちはる『シンポジウム I. 「臨床栄養師研修：経過と課題」 認定講座について』第 7 回日本健康・栄養システム学会(静岡), 2007. 6.
- 堤ちはる・三橋扶佐子『乳幼児健康診査における食育のあり方に関する研究』第 7 回日本健康・栄養システム学会(静岡), 2007. 6.
- 堤ちはる・三橋扶佐子『母乳育児に関する栄養士の意識調査研究』第 54 回日本栄養改善学会学術総会(長崎), 2007. 9.
- 安部真佐子・柳井慶子・吉留厚子・堤ちはる『母子健康手帳交付時期の妊婦における体重増加の自己設定値について』第 54 回日本栄養改善学会学術総会(長崎), 2007. 9.
- 酒井治子・師岡章・堤ちはる・清野富久江『保育所における食育の計画作りに関する全国的な動向』第 54 回日本栄養改善学会学術総会(長崎), 2007. 9.
- 武見ゆかり・田中弘之・堤ちはる・藤沢由美子・吉池信男『（シンポジウム）食育のこれまでの試みと今後の課題：「食育」と日本栄養改善学会の役割～学会員に対する「食育」調査結果から～』第 54 回日本栄養改善学会学術総会(長崎), 2007. 9.
- 堤ちはる・庄司順一・有村大士ほか『児童養護施設の食事環境に及ぼす施設規模の影響について』第 54 回日本小児保健学会(前橋), 2007. 9.
- 堤ちはる・三橋扶佐子『イギリスにおける栄養専門職の養成・生涯教育及びこれからの教育制度について』日本健康・栄養システム学会第 7 回分科会総会(東京), 2008. 1.
- 小林明日香・菅井和子・塩谷裕美・藤塚麻子・岩田力『船曳哲典：乳糖添加静注用ステロイド製剤による即時型アレルギーー反応を示した 2 例』第 19 回日本アレルギー学会春季臨床大会(横浜), 2007. 6.
- Nishimura T・Okaji T・Tsunoh H・Kano H・Iwata T ほか『悪性腫瘍に対する新しい治療戦略ーヒト臍帯静脈内皮細胞ワククチンと超低用量 IL-2 療法』第 37 回日本免疫学会学術集会(東京), 2007. 11.
- 横山宏和・狩野博嗣・内野俊平・岩田力『気管支喘息患者の保護者における JPGL2005 の認知度および治療薬についての認識について』第 44 回日本小児アレルギー学会(名古屋), 2007. 12.
- 岩田力『小児気管支喘息の長期管理 松戸市夜間小児急病センター学習会』(松戸市立病院), 2007. 7.
- 岩田力『衛生仮説とアレルギーの臨床』第 42 回いわきアレルギー懇話会(いわき), 2007. 9.
- 岩田力『慢性疾患としての小児気管支喘息』平成 19 年度厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究推進事業研究成果等普及・啓発事業「アレルギーシンポジウム」(東京), 2008. 2.
- 齋藤幸子・中村敬・高野陽『生後 4 か月までの乳児全数把握の方策について』第 54 回日本小児保健学会(前橋), 2007. 9.
- 三橋美和・福本恵・榊本妙子・齋藤幸子・中村敬・高野陽『子育て支援をめざした乳幼児健診のあり方：受診率、未受診フォローの状況から見た健診の実態と課題』第 54 回日本小児保健学会(前橋), 2007. 9.
- 齋藤幸子・宮原忍・近藤洋子『ワーク・ライフ・バランスと養育力に関する調査』第 48 回日本母性衛生学会(つくば), 2007. 10.
- 斉藤進・小山修・和田耕太郎・山口忍・池田康幸『親と子の生活行動と健康に関する研究(第 1 報)ーインターネット調査の概要ー』第 66 回日本公衆衛生学会(松山), 2007. 10.
- 山口忍・斉藤進・小山修・和田耕太郎・池田康幸『親と子の生活行動と健康に関する研究ー聞き取り調査からー』第 66 回日本公衆衛生学会(松山), 2007. 10.

- 山口忍・丸井英二・齊藤進・荒賀直子『Difficulties in Raising Children Experienced by Mothers Raring Infants.』
The 1st KOREA-JAPAN JOINT CONFERENCE ON COMMUNITY HEALTH NURSING “New Vision of Community Health Nursing
for Aging Era” (韓国ソウル市), 2007. 11.
- 和田耕太郎・齊藤進・小山修・山口忍・池田康幸『親子の生活行動と健康に関する研究(第3報)―食生活と運動・健康
について―』第66回日本公衆衛生学会(松山), 2007. 10.
- 安藤朗子『極低出生体重児の6歳時(就学前)の発達に関する研究』第19回日本発達心理学会(大阪), 2008. 3.
- 石井のぞみ・安藤朗子・佐藤紀子・加部一彦・山口規容子『極低出生体重児の身体発育と長期発達予後との関連性』第
43回日本周産期・新生児医学会学術集会(東京), 2007. 7.
- 石井のぞみ・安藤朗子・佐藤紀子・加部一彦・中林正雄・山口規容子『不妊治療出生の極低出生体重児における長期発達
予後』第52回日本未熟児新生児学会(高松), 2007. 11.
- 益邑千草(講師)『つないで育む食育の推進』フードシステムソリューション 2007「学校給食ソリューションセミナー」
シンポジウム(東京), 2007. 11.
- 柏女霊峰『保育士資格の法定化と保育士の課題』第60回日本保育学会(埼玉), 2007. 5.
- 橋本真紀・柏女霊峰『保育指導業務体系化の試み I』第8回日本子ども家庭福祉学会全国大会(大阪), 2007. 6.
- 佐藤まゆみ・柏女霊峰・澁谷昌史・尾木まり・小林理・網野武博ほか『子ども家庭福祉行政機関の機構改革と運営に関す
る研究: 子ども家庭福祉の相談実施体制を中心として』第8回日本子ども家庭福祉学会全国大会(大阪), 2007. 6.
- 植木信一・柏女霊峰・尾木まりほか『放課後児童クラブのガイドラインに関する研究』第8回日本子ども家庭福祉学会全
国大会(大阪), 2007. 6.
- 伊藤嘉余子・尾木まり・鈴木力・庄司順一・有村大士・渋谷昌史・谷口純世『児童養護施設の小規模化の推進に向けての
課題』第55回日本社会福祉学会全国大会(大阪), 2007. 9.
- 安部計彦・松崎佳子・山屋春恵・有村大士『児童相談所一時保護所の現状と課題』第8回日本子ども家庭福祉学会(大阪),
2007. 6.
- 有村大士・才村純・庄司順一・渋谷昌史・伊藤嘉余子・尾木まり・堤ちはる・鈴木力・谷口純世『施設規模による児童養
護施設における職員の業務・負担と子どもの受けるサービスについての研究―タイムスタディ調査の二次分析から―』
第55回日本社会福祉学会全国大会(大阪), 2007. 9.

2. 研究論文

- 平山宗宏「ポリオ生ワクチン緊急導入の経緯とその後のポリオ」『小児感染免疫』19(2), 2007, 189-196.
- 平山宗宏「保健福祉疫学」の科目設定に寄せて(2)感染症と社会福祉」『高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要健康福祉
研究』4(2), 2007, 1-42.
- 柳澤正義「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」平成19年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家
庭総合研究事業)『(公開シンポジウム)健やかな子育てを支える仕組みづくりのために』東京, 2008. 3.
- 柳澤正義「授乳・離乳の支援ガイド」策定のねらい」『臨床栄養』111(1), 2007, 18-20.
- 中村敬「地域における子育て支援～子育て満足度を高める支援の展開を目指して～」『大正大学研究紀要』93, 2008,
192-212.
- 中村敬「要保護児童対策地域協議会と医療機関」『小児科臨床』60(4), 2007, 797-803.
- 中村敬「人口動態統計および東京都母子医療統計よりみた出生体重減少について」『日本周産期新生児学会雑誌』43(4),
2008, 852-856.
- 堤ちはる「妊産婦のための食生活指針作成にあたって」『周産期医学』37(5), 2007, 547-553.
- 堤ちはる「離乳の支援の考え方」『臨床栄養』111(1), 2007, 24-28.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド」について 策定の背景と今後の活用」『栄養学雑誌』65(4), 2007, 179-191.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド」の概要」『食生活』101(9), 2007, 74-80.
- 吉池信男・武見ゆかり・田中弘之・堤ちはる・藤澤由美子「食育」に対して本学会員はどのような取り組みを求めている
のか―「食育」アンケート調査結果から―」『栄養学雑誌』65(4), 2007, 199-203.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド」解説～離乳食編」『小児科臨床』60(9), 2007, 1895-1901.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド」について 幼児期の食育―食育の観点から子育て支援を考える―」『小児保健シリ
ーズ』61, 2007, 1-9.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド」について」『キューピーニュース』403, 2007, 403(2)-403(13).
- 堤ちはる「家庭における食育を考える」『母子保健情報』56, 2007, 83-88.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド」について」『助産師』62(1), 2008, 46-55.
- 堤ちはる「離乳食の進め方」『小児科』49(2), 2008, 163-171.
- 山口忍・丸井英二・齊藤進・荒賀直子「1歳児をもつ母親の育児困難感」『順天堂医学』53, 2007, 468-476.
- 才村純「調査研究から見た児童虐待問題 第6回: 児童相談所の現状と課題①」『保育界』4月号, 2007, 57-61.
- 才村純「児童虐待防止制度改正の論点」『月刊少年育成』52(4), 2007, 22-29.

- 才村純 「調査研究から見た児童虐待問題(7)「児童相談所の現状と課題②」『保育界』5月号, 2007, 54-57.
- 才村純 「わが国における虐待防止制度の現状と課題」『社会福祉学』48(1), 2007, 205-208.
- 才村純 「第8回 市町村における相談支援体制」『保育界』6月号, 2007, 35-39.
- 才村純 「第9回 児童養護施設の現状と課題①」『保育界』7月号, 2007, 61-65.
- 才村純 「(特集)社会的養護の子どもの育ち 6. 児童相談所の役割と課題」『チャイルドヘルス』10(10), 2007, 24-26.
- 才村純 「児童虐待防止制度改正の意義と課題」『季刊児童養護』38(1), 2007, 24-27.
- 才村純 「第10回 児童養護施設の現状と課題②」『保育界』8月号, 2007, 41-45.
- 才村純 「第11回 里親の現状と課題」『保育界』9月号, 2007, 65-69.
- 才村純 「調査研究から見た児童虐待問題(13)「保育所における取り組みの実態と課題(1)」『保育界』12月号, 2007, 50-55.
- 才村純 「調査研究から見た児童虐待問題(14)「保育所における取り組みの実態と課題(2)」『保育界』1月号, 2008, 66-70.
- 才村純 「調査研究から見た児童虐待問題(15・最終回)「虐待の未然防止と保育所の役割」『保育界』2月号, 2007, 59-63.
- 才村純 「児童相談所における虐待対応業務等の実態と課題」『子どもの虹情報研修センター紀要』5, 2008, p13-22.
- 柏女霊峰 「子ども虐待防止の現状と課題」『小児科臨床』60(4), 2007, 555-561.
- 柏女霊峰 「『子どもの育ち』に今何が必要か」『世界の児童と母性』62, 2007, 2-5.
- 柏女霊峰 「認定こども園と就学前保育のグランドデザイン」『育ちと援助』2, 2007, 82-86.
- 柏女霊峰 「自治体における次世代育成支援政策」『都市問題研究』59(4), 2007, 30-44.
- 柏女霊峰 「子どもの権利を保障するための視点」『月刊福祉』91(1), 2008, 12-17.
- 庄司順一 「里親養育とアタッチメント」『こころの科学』134, 2007, 49-54.
- 庄司順一 「アタッチメントについて」『保育界』9月号, 2007, 32-33.
- 庄司順一 「里親の現状と課題: 里親制度を発展させるために」『子どもの虐待とネグレクト』9(2), 2007, 162-170.
- 庄司順一 「(特集)社会的養護と子どもの育ち 5. 里親としての生活」『チャイルドヘルス』10(10), 2007, 21-23.
- 庄司順一 「(シンポジウム)里親養育とアタッチメント」『乳幼児医学・心理学研究』16(1), 2007, 35-42.

3. 編著書

- 小山修 「第V章健康管理の実践 5. 健康づくり-2. 健康教育」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版, 東京: 文光堂, 2007, 340-348.
- 小山修 「XI. 子どもをめぐる生活環境」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2008』東京: KTC 中央出版, 2008, 367-391.
- 中村敬 「第V章健康管理の実践 3. 行政、法律に基づく健康管理-2. 地域の乳幼児健康診査」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版, 東京: 文光堂, 2007, 287-298.
- 中村敬 「保健と医療と福祉のつながり~保健医療の政策~」大正大学社会福祉研究会編『社会福祉原論I』東京: 大正大学出版会, 2007, 78-93.
- 高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版, 東京: 文光堂, 2007, 1-591.
- 高野陽 「第II章統計 1. 乳幼児の人口動態統計、第IV章地域母子保健 3. 保健サービス、第5章健康管理の実践 1. 保育園、幼稚園における保健活動、コラム⑦保健所の健康診査と保育園の健康診断」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版, 東京: 文光堂, 2007, 22-40, 217-225, 226-233, 216.
- 浅野明美・高野陽 「第III章法律と行政 1. 乳幼児の健康管理に関する法律、行政」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版, 東京: 文光堂, 2007, 46-63.
- 高野陽 「第5章 健康と安全管理 2. 健康管理と衛生管理」網野武博ほか編『保育所運営マニュアル: 子育て環境の変化と保育所の子育て支援』三訂, 東京: 中央法規, 2007, 157-175.
- 高野陽・柳川洋・加藤忠明編『母子保健マニュアル』改訂6版, 東京: 南山堂, 2008.
- 高野陽 「1. 母子保健概論」高野陽・柳川洋・加藤忠明編『母子保健マニュアル』改訂6版, 東京: 南山堂, 2008, 1-6.
- 堤ちはる(共著)『はじめての愛情いっぱい離乳食』東京: プティック社, 2007, 2, 3, 16-19, 26, 27, 34, 35, 42, 43, 74-77.
- 堤ちはる 「V. 栄養・食生活」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2008』東京: KTC 中央出版, 2008, 155-182.
- 岩田力 「第VI章保育現場における具体的課題への対応 2. 疾患からみた保育現場における対応-6. 感染症」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版, 東京: 文光堂, 2007, 457-467.
- 岩田力 「学校保健 (小児気管支喘息治療・管理ガイドラインの解説 第6回)」『Pediatric Allergy for Clinicians』3(2), 2007, 24-27.

- 岩田力「小児アレルギーの疫学」『治療』89(5), 2007, 1778-1783.
- Kazuko Sugai・Ayako Shiga・Kenji Okada・Tsutomu Iwata ほか「Dermal testing of vaccines for children at high risk of allergies.」『Vaccine』25(17), 2007, 3454-3463.
- Khalequz Zaman・Haruko Takeuchi・Md Yunus・Tsutomu Iwata ほか「Asthma in Rural Bangladeshi Children.」『Indian Journal of Pediatrics』74(6), 2007, 539-543.
- 岩田力「食物アレルギーへの対応」『臨床栄養』111(1), 2007, 37-40.
- 岩田力「第VI章 保育現場における具体的課題への対応、2. 疾患から見た保育現場における対応、6. 感染症」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアルー地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指してー』東京：文光堂，2007，457-467.
- 岩田力「原発性免疫不全症の IUIS 新分類」『臨床免疫・アレルギー科』48(2), 2007, 171-181.
- 岩田力「免疫不全と感染症」岡部信彦編『小児感染症学』東京：診断と治療社，2007，138-154.
- 岩田力「気管支喘息が治るといふこと」『Q & A でわかるアレルギー疾患』3(6), 2007, 621-623.
- Takeuchi H・Zaman K・Takahashi J・Iwata T. ほか「High titre of anti-Ascaris immunoglobulin E associated with bronchial asthma symptoms in 5-year-old rural Bangladeshi children.」『Clin Exp Allergy』38(2), 2008, 276-82. Epub 2007 Dec 7.
- 齋藤幸子「IX. 子どもの生活・文化・意識と行動」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』東京：KTC 中央出版，2008，297--328.
- 齊藤進「児童福祉サービスの現状と課題」才村純編『保育者のための児童福祉論』東京；樹村房，2008，68-74.
- 齊藤進「I. 人口動態と子ども」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』東京：KTC 中央出版，2008，27-60.
- 安藤朗子「第VI章保育現場における具体的課題への対応 4. 注意を要する子ども-4. 低出生体重児、未熟児」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル：地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版，東京：文光堂，2007，550-555.
- 安藤朗子「VII. 教育」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』東京：KTC 中央出版，2008，223-270.
- 安藤朗子「「臨床心理」「場面緘黙」「多動」「チック」「分離不安」「ラポール」「箱庭療法」「遊戯療法」「セラピスト」「臨床心理士」」森山史朗・柏女霊峰編『保育用語辞典』第4版，京都：ミネルヴァ書房，2008.
- 安藤朗子「第2章1. 育児アドバイスの基本的事項、第3章家庭訪問保育における育児アドバイス Q&A 5. 子どもの障害、8. 育児相談コラム」(社)全国ベビーシッター協会編『子育て家庭への育児アドバイスの手引き～家庭訪問保育における保育者の悩みや問いかけに答えて』2008，12-16，77-89，113.
- 益邑千草「IV. 保健・医療」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』東京：KTC 中央出版，2008，103-154.
- 益邑千草「知っておこう！トイレトレーニング」加藤彰一・神山潤・益邑千草ほか監修『ほけんだより 12 か月』東京：学習研究社，2008，47.
- 高橋重宏・伊達直利・山縣文治・湯澤直美「4. 座談会・子ども家庭福祉の今日的課題」全国子ども家庭福祉会議実行委員会編『日本の子ども家庭福祉：児童福祉法制定 60 年の歩み』東京：明石書店，2007，41-58.
- 高橋重宏『子ども虐待(新版)』東京：有斐閣，2008.
- 才村純「第4章「子ども家庭福祉の最近の動向」、第7章2「子ども家庭福祉の実施体制」、第8章1「相談援助システムの現状と課題」」高橋重宏・山縣文治・才村純編『子ども家庭福祉とソーシャルワーク』第3版，東京：有斐閣，2007，96-121，246-268，276-280.
- 才村純「第VI章保育現場における具体的課題への対応 4. 注意を要する子ども-1. 虐待、コラム⑤代理人によるミュンヒハウゼン症候群」高野陽・中原俊隆編『医師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル：地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第1版，東京：文光堂，2007，530-538，538.
- 才村純「第9章 児童虐待ソーシャルワークの現状と課題」袴田俊一編『福祉カウンセリング』第2版，京都：久美，2007，115-132.
- 才村純「第9章 地域の子育て支援家庭 3. 児童虐待への対応」網野武博ほか編『保育所運営マニュアル：子育て環境の変化と保育所の子育て支援』三訂，東京：中央法規，2007，327-342.
- 才村純「第1章第3節 発見と対応のための仕組み，第1章第5節 主な調査・研究の概要，第2章第4節 援助ネットワークの事例(追録)」子ども虐待の予防とケア研究会編『子ども虐待の予防とケアのすべて』東京：第一法規，2007.
- 才村純「10. 国・地方自治体が子ども家庭福祉において果たしてきた役割，21. 子ども虐待への社会的対応の課題と展望」全国子ども家庭福祉会議実行委員会編『日本の子ども家庭福祉：児童福祉法制定 60 年の歩み』東京：明石書店，2007，109-121，215-229.
- 才村純「VI. 子どもと家庭の福祉」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』東京：KTC 中央出版，2008，183-222.
- 才村純「3. 母子保健・児童福祉事業 3-2. 児童福祉事業」高野陽・柳川洋・加藤忠明編『母子保健マニュアル』改訂6版，東京：南山堂，2008，22-28.
- 才村純「第3章第1節「児童福祉の法制度」，第2節「児童福祉の実施体制」，第4章第1節「被虐待児童のための福祉サ

- ービス」, 第 2 節「非行児童、情緒障害児のための福祉サービス」, 第 7 章「少子社会における施策の動向」, 資料編
 新版・社会福祉学習双書編集委員会編『新版・社会福祉学双書 2008「4. 児童福祉論」』改訂新版第 3 版, 東京: 全国
 社会福祉協議会, 2008, 84-103, 104-125, 132-148, 149-156, 264-290, 291-299.
- 才村純編『保育者のための児童福祉論』東京: 樹村房, 2008.
- 柏女霊峰(監修)・里親ファミリーホーム全国連絡会編『これからの児童養護: 里親ファミリーホームの実践』東京: 生活
 書院, 2007, 1-227.
- 柏女霊峰「保育所保育指針の改定について(中間報告)を読む」『これからの「保育所保育指針」を考えるために』東京:
 全国社会福祉協議会, 2007, 4-9.
- 柏女霊峰・佐藤まゆみ「近年の児童福祉に関する法改正, 近年の児童福祉に関する施策」小木曾・宮本・鈴木編『よくわ
 かる養護内容・自立支援』京都: ミネルヴァ書房, 2007, 168-171, 172-177.
- 柏女霊峰「戦後子ども家庭福祉制度の変遷」全国子ども家庭福祉会議実行委員会編『日本の子ども家庭福祉』東京: 明石
 書店, 2007, 29-40.
- 柏女霊峰「第 4 章第 7 節「保育サービス」」新版・社会福祉学習双書編集委員会編『新版・社会福祉学双書 2008「4. 児
 童福祉論」』改訂新版第 3 版, 東京: 全国社会福祉協議会, 2008, 192-202.
- 柏女霊峰『子ども家庭福祉サービス供給体制: 切れ目のない支援をめざして』東京: 中央法規, 2008.
- 柏女霊峰・森上史朗編『保育用語辞典』第 4 版, 京都: ミネルヴァ書房, 2008.
- 庄司順一「第 VI 章保育現場における具体的課題への対応 4. 注意を要する子ども-3. 登園拒否」高野陽・中原俊隆編『医
 師、看護職のための乳幼児保健活動マニュアル: 地域、保育所、幼稚園の子どもの健康を目指して』第 1 版, 東京:
 文光堂, 2007, 544-549.
- 庄司順一「第 2 章 21 世紀の小児医療心理士のトレーニング」マイケル・C・ロバーツ編・奥山真紀子・丸光恵監訳『小児
 医療心理学』東京: エルゼビア・ジャパン, 2007, 17-26.
- 庄司順一「22. 社会的援助を必要とする子どもの自立支援」全国子ども家庭福祉会議実行委員会編『日本の子ども家庭福
 祉: 児童福祉法制定 60 年の歩み』東京: 明石書店, 2007, 230-238.
- 庄司順一「社会的養護のもとに育つ子どもたち～社会的養護の現状と課題～」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども
 資料年鑑 2008』東京: KTC 中央出版, 2008, 17-26.
- 庄司順一「16. 小児の精神保健」高野陽・柳川洋・加藤忠明編『母子保健マニュアル』改訂 6 版, 東京: 南山堂, 2008,
 177-186.
- 庄司順一「第 2 章第 2 節「現代社会と児童の成長・発達」, 第 4 節「児童虐待」」新版・社会福祉学習双書編集委員会編『新
 版・社会福祉学双書 2008「4. 児童福祉論」』改訂新版第 3 版, 東京: 全国社会福祉協議会, 2008, 57-61, 66-83.
- 庄司順一「第 5 章 子ども虐待はなぜ起こるのか 1. 虐待発生に関する古典的理論 2. 子育てのむずかしさー虐待の背景 3.
 虐待発生に関する諸要因、虐待発生要因の生態学的モデル 5. 虐待のリスク因子と補償因子、第 11 章 子どもの権利
 擁護システムの構築を目指して 3. 子どもと親へのサービスの課題」高橋重宏編『子ども虐待(新版)』東京: 有斐閣,
 2008, 93-105, 239-243.
- 川井尚「育児不安、育児不安評定尺度」日本小児看護学会監修・編集『小児看護事典』東京: へるす出版, 2007, 32-34.
- 川井尚「Ⅲ. 発育・発達」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』東京: KTC 中央出版, 2008, 83-102.
- 有村大士・板倉孝枝「Ⅱ. 家族・家庭, Ⅷ. 保育・健全育成」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑 2008』
 東京: KTC 中央出版, 2008, 61-82, 271-296.
- 有村大士「第 7 章 児童相談所と児童福祉司の課題 1. 児童相談所、児童福祉司の成立 2. 児童相談所の現状」高橋重宏
 編『子ども虐待(新版)』東京: 有斐閣, 2008, 143-146.

4. 報告書

- 柳澤正義『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究(主任研究者 柳澤正義)』平成 19 年度厚生労働科学
 研究費補助金(子ども科学総合研究事業)総括・分担研究報告書, 2008.
- 柳澤正義『子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究(主任研究者 柳澤正義)』平成 19 年度厚生労働科学
 研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)総合研究報告書, 2008.
- 加藤忠明・柳澤正義・顧艶紅「法制化前後で疾患名を変更した小児慢性特定疾患児の登録状況」平成 19 年度厚生労働科
 学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『法制化後の小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供
 に関する研究(主任研究者 倉辻忠俊)』総括・分担研究報告書, 2008, 35-38.
- 中村敬・高野陽・堤ちはる・齋藤幸子ほか「乳幼児健診システムに関する全国実態調査」平成 19 年度厚生労働科学研究
 補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』2008,
 197-294.
- 中村敬『地域における子育て支援サービスの有効活用に関する研究～サービス利用に関係する親の新理要因とサービス利用
 の積極性について～』平成 19 年度児童関連サービス調査研究事業報告書, 2008.
- 中村敬「子育て支援～住民への参加を促進するための養成と活用システムの体系化に関する研究ー東京都板橋区の子育て

- 支援者養成講座の受講生評価を通してー」平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『住民参加と保健福祉の協働による子育て機能の向上・普及・評価に関する研究(主任研究者 前川喜平)』報告書, 2008, 44-54.
- 清水益治・民秋言・高野陽ほか『保育所と小学校の連携のあり方に関する調査研究(主任研究者 清水益治)』平成 19 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書, 2008.
- 高野陽・中村敬・齋藤幸子・益邑千草ほか『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』平成 19 年厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業), 2008.
- 高野陽・中村敬・齋藤幸子・益邑千草「乳幼児健診システム及び運用に関する調査」平成 19 年厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』2008, 15-75.
- 高野陽・益邑千草・吉田弘道・中村敬・齋藤幸子「5 歳児健診の実態調査について」平成 19 年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』2008, 76-104.
- 高野陽・齋藤幸子・益邑千草「土曜日・休日健診の実施に関する調査」平成 19 年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』2008, 105-112.
- 堤ちはるほか「乳幼児健康調査における食育、栄養教育のあり方に関する研究(3)」平成 19 年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』2008, 113-134.
- 堤ちはる「乳幼児健診ガイドライン案(栄養・食生活分野)」平成 19 年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)『新しい時代に即応した乳幼児健診のあり方に関する研究(主任研究者 高野陽)』2008, 135-196.
- 岩田力「原発性免疫不全症候群症例登録について」平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業『原発性免疫不全症候群に関する調査研究(班長 宮脇利男)』総括・分担研究報告書, 2008, 11-16.
- 齊藤進『社会教育による子育て支援:昭和初期の農村社会教育から』大正大学社会教育主事課程報告書, 9, 2008, 62-65.
- 齊藤進「父親の子育てを促進する父親支援を充実させるために」NPO 法人新座子育てネットワーク地域における父親支援ネットワーク構築事業報告書『お父さんは、地球でいちばん、すてきな仕事』2008, 23-25, 49.
- 高橋重宏『子ども家庭福祉分野における家族支援のあり方に関する総合的研究』平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)研究報告書, 2008.
- 才村純・有村大士・板倉孝枝・根本顕ほか『改正児童虐待防止法の円滑な運用に関する基礎研究(主任研究者 才村純)』平成 19 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書, 2008.
- 柏女霊峰ほか『「生協の子育て支援研究会」報告をうけて』日本生活協働組合連合会, 2007, 1-30.
- 柏女霊峰ほか『子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について』社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会, 2007.
- 柏女霊峰・高野陽・網野武博ほか『保育所保育指針の改定について(報告書)』「保育所保育指針」改定に関する検討会, 2007.
- 庄司順一・有村大士・板倉孝枝・大和田夏美ほか『社会的養護体制に関する諸外国比較に関する調査研究(主任研究者 庄司順一)』平成 19 年度児童関連サービス調査研究事業報告書, (財)こども未来財団, 2008.
- 庄司順一・有村大士・板倉孝枝・大和田夏美「養育里親に関する研究」平成 19 年度児童関連サービス調査研究事業報告書『社会的養護体制に関する諸外国比較に関する調査研究(主任研究者 庄司順一)』(財)こども未来財団, 2008.
- 林浩康・兼井京子・有村大士・板倉孝枝・庄司順一「親族里親およびいわゆる季節里親に関する研究」平成 19 年度児童関連サービス調査研究事業報告書『社会的養護体制に関する諸外国比較に関する調査研究(主任研究者 庄司順一)』(財)こども未来財団, 2008.

5. その他

- 柳澤正義「(巻頭言)特集:「子どもの心」について」『母子保健情報』2007, 1.
- 柳澤正義(総監修)『親子でスクラム:生活習慣病の予防は子どものときから』健康日本 21 推進全国連絡協議会, 2007, 1.
- 柳澤正義「子どもの心の診療」『総合臨牀』56(5), 2007, 1809-1810.
- 柳澤正義・堤ちはる(指導)『知っておきたい育児のポイント』東京:(財)母子衛生研究会, 2007.
- 柳澤正義「子どもの心の診療医」『日本医事新報』4337, 2007, 1.
- 柳澤正義・堤ちはる他『赤ちゃん&子育てインフォ:母子健康手帳の副読本』東京:(財)母子衛生研究会, 2007, 1-176.
- 柳澤正義「(巻頭随筆)ゆったりと子育てを楽しむ」『教育と医学』55(7), 2007, 2-3.
- 柳澤正義「(総論)「授乳・離乳の支援ガイド」策定の背景」『月刊母子保健』7月号, 2007, 1.
- 柳澤正義・堤ちはる(指導)『楽しく食べよう!ママと赤ちゃんの離乳食応援 BOOK』東京:(財)母子衛生研究会, 2007, 1-13.
- 柳澤正義「子どもの心の診療医養成の背景と展望」『メディカル朝日』36(8), 2007, 50-51.
- 柳澤正義「(論説)モンスターペアレント」『小児科診療』70(11), 2007.

- 小山修「地下室」『Well-Being NEWS』277, 2008, 1.
- 小山修「清瀬市母子保健計画」『健やか親子・きよせ 21』2008.
- 中村敬「埼玉県認証保育者養成講座「子育てマスター養成セミナー～チチ・ハハお助け隊入門～」」報告書, 2007, 24-29.
- 高野陽「知っておきたい医学知識：乳幼児がかかりやすい疾病とその特徴に関する基礎知識」幼稚園・保育所の経営課題
実務研究会編『幼稚園・保育所の経営課題とその解決』東京：第一法規, 2007.
- 高野陽「病児保育の現状」『医学のあゆみ』223(4), 2007, 304-305.
- 堤ちはる「離乳の進め方の基本と食生活」『メディカル朝日(別冊)』36(4), 2007, 2-4.
- 堤ちはる「妊産婦の食生活、からだのトラブル：貧血、栄養と歯の健康」東京：(財)母子衛生研究会『2007年度版 母子健康手帳の副読本』2007, 22-27, 32, 68-75.
- 堤ちはる「「授乳・離乳の支援ガイド」で子どもとその親に適切な支援を」『公衆衛生情報取材』37(5), 2007, 36-39.
- 堤ちはる(監修)・山本妙子(離乳食指導)『らくらく離乳食ガイドブック』東京：東京法規, 2007, 33.
- 堤ちはる(監修)『(パンフレット) 離乳をはじめましょう 離乳食の進め方の目安』東京：東京法規, 2007.
- 堤ちはる「「授乳・離乳の支援ガイド」を踏まえた離乳の進め方の基本と食生活」『月刊母子保健』7月号, 2007, 6-7.
- 堤ちはる「(指導)離乳食の進め方」『月刊母子保健』7月号, 2007, 17-18.
- 堤ちはる「離乳食について」『月刊赤ちゃんとママ』42(7), 2007, 37.
- 堤ちはる「妊婦さんへの栄養指導」『武田薬報』448, 2007, 14-16.
- 堤ちはる「授乳・離乳の支援ガイド 解説～離乳編」『赤ちゃん通信』26, 2007, 1-8.
- 堤ちはる「「授乳・離乳の支援ガイド」について」『愛育会だより』374, 2007, 1-3.
- 堤ちはる「(シンポジウム)乳幼児の栄養と食育、離乳の進め方の基本と食生活－「授乳・離乳の支援ガイド」を踏まえて－」第9回ダノン健康・栄養フォーラム(東京), 2007.10.
- 堤ちはる他「乳幼児期の食育－食育の観点から子育て支援を考える－総合討論」『小児保健シリーズ』61, 2007, 52-63.
- 堤ちはる(監修)『ゆっくり・あんしん・離乳食－「授乳・離乳の支援ガイド」より－』東京：赤ちゃんとママ社, 2007, 1-20.
- 堤ちはる「おやつのお考え方と与え方」『月刊 赤ちゃんとママ』10月号, 2007, 37.
- 堤ちはる(指導)『赤ちゃんの味覚を育む食育ガイド おいしさの秘密』東京：(財)母子衛生研究会, 2007.9.
- 堤ちはる「赤ちゃんの離乳どう進める？」『朝日新聞』2007.9.22, 24面.
- 堤ちはる「「授乳・離乳の支援ガイド」について」『愛育』26, 2007.
- 加部一彦・堤ちはる「「食べる」ことは「生きる」こと！！赤ちゃんの命を支える大切な“食”を見直そう、おっばい、ミルク、離乳食「やっぴいこと・悪いこと」」『おはよう赤ちゃん』11月号, 2007, 42-43, 62-67.
- 堤ちはる(監修)「お母さんの育児を支援する離乳ガイド」(社)日本栄養士会『健康増進のしおり』2007-2, 2007.
- 中林正雄・堤ちはる(指導)『ママの食と健康ガイド』東京：(財)母子衛生研究会, 2007.
- 堤ちはる「離乳の進め方の基本と食生活：「授乳・離乳の支援ガイド」を踏まえて」『若さの栄養学』134, 2007, 10-19.
- 堤ちはる「大人の食事への移行」『月刊 赤ちゃんとママ』42(12), 2007, 37.
- 堤ちはる「8割の保護者が食育に関する学習への意欲を示す」『遊育』22, 2007, 13.
- 堤ちはる(DVD監修)『赤ちゃんと離乳食：第1巻「進め方の基本と食生活」、第2巻「離乳食作りのポイント」』東京：(株)新宿スタジオ, 2007.
- 堤ちはる「(特別講演)“食”を通して育つもの、育てたいもの」『(食育シンポジウム)楽しい食育の取組み』東京都南多摩保健所, 2008.
- 堤ちはる「食の見直しと少しの工夫を」『月刊 赤ちゃんとママ』3月号, 2008, 37.
- 齊藤進「提言⑩ 子育てネットワークの課題と児童館」みんなで子育て：児童館を拠点とした子育てネットワークづくり事業, 2008, 76.
- 安藤朗子「(特集)地域再生の核としての子育て支援：子ども虐待を防止するために－子育て相談の場における支援－」『子ども未来』12月号, 2007, 13-14.
- 益邑千草(監修)『(携帯サイト)まる育 育児相談「あたたかい手当て」』家庭教育研究会, 2007.
- 才村純(講師)「第2分科会 研究協議「児童虐待」平成18年度連絡協力促進事業『全国青少年相談研究集会』報告書. 2007, 28-32.
- 才村純「児童虐待防止制度改正の概要と課題」『人権のひろば』57, 2007, 4-6.
- 才村純「(ブックレビュー)イギリスの児童虐待防止とソーシャルワーク(田邊泰美著)」『子どもの虐待とネグレクト』9(2), 2007, 260-261.
- 才村純ほか「児童養護対策の今、そしてこれから」『厚生労働』11月号, 2007, 6-15.
- 才村純「(特集)保育所における子ども虐待予防、子育て支援：保育所における子ども虐待の対応へのポイント～平成17・18年度厚生労働科学研究の結果から」『ぜんほきょう』175, 2007, 2-4.
- 才村純「(座談会)法改正をめぐって」『子どもの虐待とネグレクト』9(3), 2007, 322-344.
- 才村純「(特集)子どもの権利を守る：児童虐待の再発防止に向けた取り組み」『月刊福祉』91(1), 2008, 39-41.
- 才村純「社会福祉の基礎知識 第6回ファミリーソーシャルワーク」『月刊福祉』90(12), 2007, 98-99.

- 柏女霊峰「学童保育への期待」『日本の学童はいく』380, 2007, 24-25.
- 柏女霊峰「(書評)児童虐待:現場からの提言」『高齢者虐待防止研究』3(1), 2007, 128.
- 柏女霊峰「次世代育成の視点」『こども未来』427, 2007, 18-19.
- 柏女霊峰ほか「(座談会)レベルアップ!保育士資格」『保育の友』55(5), 2007, 11-24.
- 柏女霊峰「現代と子ども家庭福祉」『NHK社会福祉セミナー 2007』7-9月号, 2007, 40-43.
- 柏女霊峰「子ども家庭福祉の制度」『NHK社会福祉セミナー 2007』7-9月号, 2007, 44-47.
- 柏女霊峰「保育サービスの現状と課題」『NHK社会福祉セミナー 2007』7-9月号, 2007, 48-51.
- 柏女霊峰「子どもの虐待防止と安全確保」『NHK社会福祉セミナー 2007』7-9月号, 2007, 52-55.
- 柏女霊峰「(講演録)地域子育て支援拠点事業に期待するもの①」『じどうかん』45, 2007, 7-8.
- 柏女霊峰「放課後児童クラブガイドラインの作成について」『日本の学童はいく』384, 2007, 74-77.
- 柏女霊峰・佐々木正美(対談)「親子の関係性を考える」『保育の友』55(10), 2007, 10-17.
- 柏女霊峰「放課後児童クラブガイドラインの活用を願って」(財)児童健全育成推進財団『放課後児童クラブ:基礎研修テキスト』2007.
- 柏女霊峰「(講演録)次世代育成支援・保育の動向と保育所、保育士」『東京都公立保育園研究会の広報』199, 2007, 30-44.
- 柏女霊峰「児童虐待問題と社会福祉協議会への期待. 地域社会のつながりの再構築に向けて:制度の狭間をうめる社会福祉協議会の取り組み」全国社会福祉協議会, 2007, 32-36.
- 柏女霊峰・高野陽ほか『保育所保育指針の改定について(中間報告)』「保育所保育指針」改定に関する検討会, 2007.
- 柏女霊峰「(インタビュー)これからの児童養護はどうなるのか」『里親だより』76, 2007, 2-4.
- 柏女霊峰「(講演録)地域子育て支援拠点事業に期待するもの②」『じどうかん』46, 2007, 8-9.
- 柏女霊峰「保育所保育指針の見直しと保育所経営」『WAM』516, 2007, 7.
- 柏女霊峰・庄司順一ほか『(審議会報告)社会的養護体制の充実を図るための方策について』社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会, 2007, 1-12.
- 柏女霊峰(監修)「柏女先生のよくわかる!子育て支援」『月刊 保育とカリキュラム』57(4), 2008, 65-72.
- 伊東安男・柏女霊峰ほか『これからの保育所の機能』保育施策検討特別委員会, 2007, 1-6.
- 柏女霊峰ほか「(シンポジウム記録)すべての子ども達の放課後を豊かにするために」『とじれんだより』132, 2008, 1-7.
- 柏女霊峰ほか「(パネルディスカッション記録)子育て理念の確立と社会契約としての子ども施策」『かわらばん』168, 2007, 1-9.
- 柏女霊峰「(講演録)新保育指針と保育者の専門性」『ちゃいるどネット』82, 2008, 5-10.
- 柏女霊峰「(講演録)保育所保育指針の改定について(中間報告)を読む」『東京都公立保育園研究会の広報』202, 6-35, 2008.
- 柏女霊峰ほか「(分科会記録)ファミリーホーム制度導入の課題と制度が拓く未来」『第2回里親ファミリーホーム全国研究会報告書』2008, 32-60.
- 柏女霊峰「子どもの命と権利を守るために」『公明新聞』2008, 4.
- 柏女霊峰『(講演録)研こう 心と技を!彦根市保育協議会・事業報告書1年のあゆみ』彦根市保育協議会, 2008, 10-30.
- 柏女霊峰「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について」『社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会第4次報告』2008.
- 柏女霊峰ほか「(対談)新保育所保育指針からこれからの保育を考える」『福岡県保連だより』142, 2008, 1-3.
- 柏女霊峰ほか『子どもの安全を確保するために・児童相談所の現場から一子ども虐待対応事例集』千葉県児童相談所協議会, 2008.3, 1-109.
- 庄司順一「関係発達論という見方」『保育界』5月号, 2007, 58-59.
- 庄司順一「(講評)「望ましい保育所保育を求めて」「保育園で気になる子どもの保育」「母子分離不安の親子とともに」について」(社福)日本保育協会保育科学研究所『第1回保育所保育実践研究・報告集』2007, 84-85.
- 庄司順一「里親制度への誤解」『保育と保健ニュース』2007, 2.
- 庄司順一「子どもの発達と環境」『保育界』7月号, 2007, 20-21.
- 庄司順一「家庭的保育をめぐる」『保育界』8月号, 2007, 16-17.
- 庄司順一「(書評)里親ファミリーホームの発展に向けて」[これからの児童養護(柏女霊峰監修, 里親ファミリーホーム全国連絡会編)]. 2007, 50.
- 庄司順一「(特集)地域再生の核としての子育て支援:虐待を受けた子どもの社会的養護の在り方」『こども未来』12月号, 2007, 7-9.
- 庄司順一「(巻頭エッセー)子どもが育つということ」『季刊 児童養護』38(2), 2007, 4-5.
- 庄司順一「ちょっと長いあとがき」『保育界』12月号, 2007, 26-27.
- 庄司順一「(巻頭言)メアリー・エレン再び」『子どもの虐待とネグレクト』9(3), 2007, 273-276.
- 庄司順一「第22回平成家族考「家庭における育児不安と私事化社会」」『月刊福祉』91(2), 2007, 82-83.
- 庄司順一「第23回平成家族考「今日の家における養育の課題:子ども虐待をめぐる」」『月刊福祉』91(3), 2008, 84-85.
- 庄司順一「親(母)と子の宿泊型生活サポート事業の実践を見守って」親(母)と子の宿泊型生活サポート事業運営検討会/親子関係の再構築に向けた支援のあり方検討会(座長:庄司順一、宮城県大崎地域子どもセンター)『親子関係の再構

築に向けた家族支援：親(母)と子の宿泊型生活サポート事業を实践して』2008.